

第20回記念 長野マラソン

【大会概要】

開催日：4月15日（日）8：30スタート

種目：フルマラソン（42.195km）

コース：長野マラソン長距離競走路（日本陸連公認、AIMS公認）
長野運動公園（長野市吉田）～長野オリンピックスタジアム（長野市篠ノ井東福寺）

出場者：松谷 公靖（ES管理部・部長付）
土屋 天地（人事部・労務課）

リザルト（LAP）：

Lap	松谷	土屋
5km	17' 31"	17' 15"
10km	34' 51"	34' 38"
15km	52' 33"	52' 22"
20km	1° 10' 30"	1° 10' 22"
25km	1° 29' 26"	1° 28' 25"
30km	1° 48' 43"	1° 47' 14"
35km	2° 07' 00"	2° 07' 04"
40km	2° 25' 57"	2° 31' 29"
ゴール	2° 33' 54"	2° 41' 45"
総合順位	43位/9,812人	75位/9,812人

レポート：

本大会は、2020年東京オリンピックマラソン日本代表選考会として設定されたマラソングランドチャンピオンシップ（略称：MGC）の国内対象レースであり、国内のトップレベルの選手も多く出場する大会となります。

今回出場した松谷は昨年の大田原マラソンに続く2回目のフルマラソン、土屋は入社2年目に立川ハーフマラソンで優勝しており、その副賞でニューカレドニアマラソンに出場していますが、本気でマラソンに挑戦するのは今回が初のマラソンとなりました。



当日は生憎の雨模様でしたが、走る条件としては決して悪くない中でのスタートとなり、松谷、土屋の両名は、前半から3' 30" を少し切るペースで入りスタミナの温存を困りつつ、後半の落ち込みを抑えることをイメージしてレース中盤まで安定したペースでレースを進めました。



25km過ぎから温存した力を解放してくれることを期待しましたが、兩名とも直前の練習が思う様にこなせなかった事が響き、逆にペースを落としてしまい30km以降は乳酸が溜まって動かなくなった身体を必死に前に進め、何とかゴールしましたが、マラソンの厳しさを実感する結果となりました。

次回のマラソンは11月に行われる大田原マラソンを予定しており、今回の結果を糧にして次に繋げてくれることを期待したいと思います。

今季はまだスタートしたばかりですが、今後とも、皆様の温かいご声援を宜しくお願い致します。



以上